

広報

9

Sep.2023
vol.645

桃づくりにかける思い
「30年を迎えた献上桃」



献上桃の郷。
桑折町
こおりまち



極上の桃を厳選し、皇室へ献上

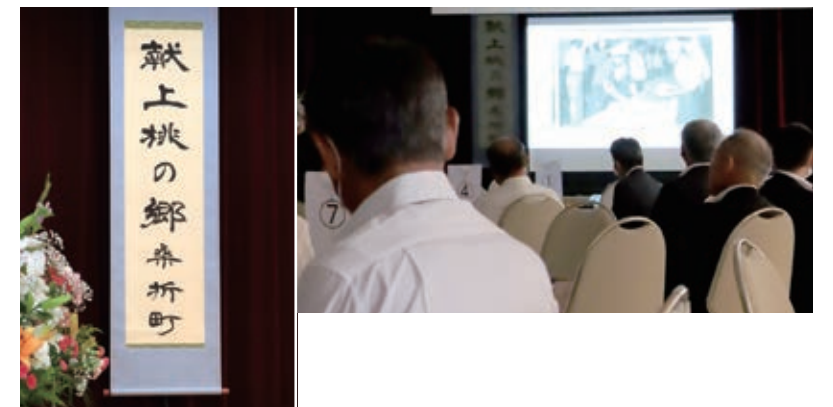
皇室に届ける献上桃の選果・箱詰りが7月25日、JAふくしま未来桑折総合支店で行われ、180個の桃が丁寧に箱詰めされました。

当日出荷されたあかつき約12万個を光センサー選果機に通し、糖度や大きさ、着色で1次選果した600個の中から、さらに献上桃にふさわしい桃を県職員やJA関係者らが厳選。数又清市組合長は「今年は適度な降雨もあり、生育状況がとても良い。平均糖度は13.3度と平年より高い水準となっており、高品質な桃をお届けできる」と喜びを噛みしめました。



30周年を祝う記念式典

献上桃30周年記念式典が8月26日、JAふくしま未来桑折総合支店で開かれました。式では、記念式典実行委員会の佐藤廣武委員長や高橋宣博町長、佐藤宏隆福島県副知事などがあいさつ。また、30年のあゆみを写真で紹介するなど、これまでの取り組みを振り返りました。祝賀会では、それぞれが思い出に花を咲かせ、盛大に30周年を祝いました。



時を越えて受け継がれる桑折の桃
30年を迎えた
献上桃
桑折の桃が献上桃に選ばれて今年で30年。記念式典や選果式、桃PR事業の様子をお伝えします。

桃づくりにかける思い

江戸から昭和初期にかけて養蚕業が繁盛していた桑折町。しかし、時代の流れとともに養蚕業は衰退。代わりに、桑畑などを上手く利用した果樹栽培、特に桃の栽培が盛んになり、今では、町を支える産業の一つとなりました。

平成6年には、他の農協に先駆けて、町のJAに光センサー方式選別機械が導入され、高品質な桃の安定供給が見込まれることから、桑折の桃が献上桃に指定されました。以来、震災・原発事故や度重なる自然災害などの影響を受けながらも、一度も途切れることなく30年を迎えました。生産者をはじめ、多くの農業関係者らのたゆまぬ情熱と努力が、桑折の桃には受け継がれています。

voice 献上桃30周年を迎えて



ふくしま未来農業協同組合
代表理事組合長
数又 清市 さん

連続30年という長きに渡り献上桃として選ばれていること、大変光栄に思います。度重なる自然災害があった中、生産者のたゆまぬ努力や関係機関の迅速な支援により桃の品質が守られてきました。今後も、産地の発展はもとより、国内外へ桑折の桃が羽ばたいていけるよう尽力していきます。



伊達果実農業協同組合
代表理事組合長
佐藤 邦雄 さん

これまで、JAや生産者の皆さまとともに、栽培技術の向上に切磋琢磨してきた中で、30周年を迎えられたことは、桃をこよなく愛し、桃を栽培する仲間として感謝と敬意の気持ちでいっぱいです。今後も、何事にも皆さんと気持ちを一つにして、日本の桃産地を目指して精進していきます。

町と（一財）桑折町振興公社は今年、献上桃30周年を記念し、ふるさと納税特別返礼品「雅」を企画しました。

従来より町では、さまざまな品種の桃を返礼品として取り扱ってきましたが、「雅」は、共選場に出荷された採れたての桃の中から、透過式光センサー選果機を通した糖度13・5度以上に限定。さらに、農協職員が目利きし「糖度・色・かたち」の三拍子揃えた桃に厳選しています。吟味を重ね



限定100箱 献上桃30周年記念 ふるさと納税特別返礼品「雅」

みやび

選ばれた桃は、一つ一つ手作業で和紙でくるみ、桐箱へ詰められ、その日のうちに発送されます。

「雅」は、寄附額5万円（1箱6個入り）で、4月から各ふるさと納税ポータルサイトにて受付を開始し、8月上旬には、定数100箱に到達。寄附者からは「本当においしい」「こんな桃は今まで食べたことがない」などの声が寄せられました。町では、次年度以降も、町産の高品質な桃の魅力を全国へお届けし、町の農業のさらなる活性化につながるよう、特別な返礼品を継続する予定です。



voice 総務課 ふるさと納税担当 鴨田智早

ふるさと納税を通じて「献上桃の郷」のブランド力が、より一層強くなっていると感じました。ふるさと納税の寄附金は、桃の産地維持のためのさまざまな施策に充てています。生産者の皆さんが、震災による風評被害や自然災害などを乗り越えつくりあげてきた桃を、桑折の宝物として守り続けていくために、好循環となる取り組みを今後も実施していきます。



大盛況！町の桃直売所

町内にある直売所「だてかベジフル」「JA桑折共選場」は、今年也大盛況。SNSや口コミ、各種PR事業の効果もあり、全国各地から訪れる人が年々増加しています。



voice 諏訪さん家族(埼玉・千葉)

とてもおいしい桃が手ごろな価格で買える直売所が桑折町にあるということをSNSで知り、ずっと前から気になっていました。コロナの影響でなかなか行く機会がありませんでしたが、今年やっと念願の桃を買うことができました。福島県産の桃は食べたことがありますが、桑折町産の桃は初めてなので、みんなで食べるのが楽しみです！



町産桃、首相官邸や福島県庁へお届け

7月24日、高橋町長とJAふくしま未来の数又代表理事組合長らが首相官邸を訪れ、岸田文雄首相に町産桃を手渡しました。岸田首相は「豊かさを感じる味。福島の良さを世界にアピールしてほしい」と期待を寄せました。また、7月25日には、高橋町長は福島県庁を訪れ、鈴木正晃副知事と面会。朝採れの桃をお届けしました。鈴木副知事は「農業の人材育成など、産地維持のために県も協力していく」と話しました。



サンドウィッチマンのテレビ番組収録

tbc東北放送をキー局に8局ネットで放映されている「サンドのぼんやり〜ぬTV」の夏休み特別企画「サンドをおもてなしツアー in 伊達市&桑折町」の番組収録が6月25日、町内で行われました。当日は、サンドウィッチマンのお二人が桃畑やレガールこおり、旧伊達郡役所などを訪れ、採れたての桃や桃ピザを食べたり、町発祥の日本最古の自転車「三元車」のレプリカを見たりしながら桑折町を満喫しました。この番組は、7月29日、8月5日に宮城県で放映されました（福島県では秋ごろ放映予定）。

卸売市場でトップセールス

町産桃のさらなるブランド化を推進するため、高橋町長や各農協組合長らによるトップセールスが7月、いわき市中央卸売市場および石巻青果花き地方卸売市場、東京都大田市場で行われました。町産桃の出荷先である各市場で、卸売・仲卸業者のもとを訪れ、これまでの御礼や新たな価値創出に向けた取り組みなどをPRし、さらなる連携強化を図りました。



響き渡る大声援 小学校水泳競技大会

第37回町小学校水泳競技大会が7月20日、イコゼ屋内温水プールで開かれ、4年ぶりに町内全小学校（5・6年生）が一堂に会し競い合いました。今年、声出し応援や保護者の観覧が通常通り行われ、家族やクラスメイトの応援が泳ぎを後押し。弾ける水しぶきと鳴り止まない大声援が会場を大いに盛り上げました。



▶多くの人の声援を受け懸命に泳ぐ児童たち

大会結果

各種目の1位は次の通りです（👑は大会新記録）。

男子（敬称略）

100m自由形…… 本間恒之介（醸芳）1分45秒09
100m平泳ぎ…… 橋本弦樹（醸芳）1分23秒70👑
5年50m自由形…… 高橋王羽（半田醸芳）33秒59👑
6年50m自由形…… 幕田瑛二郎（伊達崎）39秒85
5年50m平泳ぎ…… 伊藤千晴（醸芳）49秒06
6年50m平泳ぎ…… 佐竹颯太（醸芳）55秒09
5年200mリレー… 醸芳小2組 3分12秒14
6年200mリレー… 醸芳小1組 2分57秒34

女子

100m自由形…… 浅野花絵（醸芳）1分16秒94
5年50m自由形…… 横山しずく（醸芳）39秒80
6年50m自由形…… 佐藤映奈（半田醸芳）42秒83
5年50m平泳ぎ…… 佐藤璃音（半田醸芳）54秒67
6年50m平泳ぎ…… 菅野咲空（半田醸芳）1分01秒27
5年200mリレー… 睦合小 3分52秒55
6年200mリレー… 醸芳小2組 2分58秒68

※女子100m平泳ぎはエントリーなし

旧伊達郡役所開庁140周年記念 鎧塚俊彦シェフ来町

日本を代表する鎧塚俊彦シェフによる「旧伊達郡役所開庁140周年記念スイーツ発表・販売会」が7月30日、旧伊達郡役所で開かれました。

当日は、NHKエデュケーショナル「みんなのきょうの料理」の公開収録が行われ、鎧塚シェフによる町産桃を使ったスイーツづくりの様子を収録。試食会では、浴衣姿の観覧者らが、目の前で調理されたスイーツを堪能しました。その後、オリジナル桃タルトの販売会が行われ、鎧塚シェフ自らが販売ブースに立ち、直筆サインや写真撮影など、来場者と交流を深めました。



1_スイーツづくりを実演する鎧塚シェフ 2_ 郡役所の雰囲気や浴衣姿に溶け込む様子 3_ 試食会を楽しむ参加者 4_ 収録限定スイーツ「スペシャルピーチメルバ」 5_ 後藤繁榮アナウンサーと鎧塚シェフ 6_ 桃タルト販売会の様子



voice 高岡さん家族（東京都）

レトロな雰囲気がとても素敵な建物で、鎧塚シェフの絶品スイーツをいただき、贅沢な時間を過ごせました。旧伊達郡役所でさまざまなイベントを体験してみたいと思いました。



家族みんなで楽しく健康に 夏休み健康まつり

日本一健康なまち桑折を目指して活動するこおり健康楽会による「夏休み健康まつり」が8月6日、役場で開かれました。

当日は、20秒で野菜摂取量が分かるベジチェックや筋肉・脂肪量が分かるインボディ、薬剤師によるストレスチェックや血管年齢の測定、景品がもらえる健康クイズなどが行われ、来場者は一つ一つの体の状態を確かめながら会場を回りました。町産桃を使用したオリジナルビタミンスムージーの試飲では、手軽にのどが潤う栄養がとれると好評。町観光大使ホタビーと一緒に健康宣言や熱中症予防啓発として救急車両の展示など、家族みんなで楽しく健康づくりの意識を高めることができました。



1_ 親子で健康宣言 2_ 野菜摂取量を簡単測定 3・4_ 桃やトマトなどが入ったビタミンスムージーの試飲 5_ 薬剤師によるストレスチェック・血管年齢測定 6_ 健康クイズに挑戦 7_ インボディで筋肉量などをチェック 8_ はしご車や救急車の乗車会

夏期巡回ラジオ体操 みんなの体操会

日本の夏の風物詩として親しまれ、毎年全国各地で開催されている「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が8月9日、ふれあい公園で開かれました。

当日は早朝6時開会にもかかわらず、約400人が参加。清々しい夏空の下、元気いっぱい体を動かし、気持ちの良い朝を過ごしました。この日は、岡本美佳さんが講師となり、細貝終さんのピアノ生演奏に合わせ体操を実施。その様子がNHKラジオ放送に生放送され、参加した皆さんの「朝が来た」の歌声や「1、2、3、4…」の大きな掛け声が全国へ届けられました。

1・2_ 早朝の清々しい空気を一杯吸い込みながら、のびのびと体を動かす参加者の皆さん 3_ 参加者に囲まれる中、ピアノの演奏を行う細貝さん 4_ 体操終了後、岡本さんと「お疲れさま」のタッチ 5_ みんなで息を合わせて体を動かす



全国大会での活躍に期待 激励金贈呈式

各種スポーツの全国大会出場が決まった選手・指導者らへの激励金贈呈式が7月24日、8月10日に役場で行われました。会田智康教育長は「持てる力を存分に出し切り、さらなる活躍を期待する」と激励しました。

各種全国大会出場選手・指導者は、次のとおりです（敬称略）。

- ▼第65回小・中学生全国空手道選手権大会
松原美奈 渡辺愛空
- ▼渡辺煌空
- ▼第57回全国道場少年剣道大会
岡崎珀大
- ▼第70回全国高等学校剣道大会
石田聖虎
- ▼全国高等学校校定時制通信制体育大会第56回卓球大会
野村健志 佐藤夢心
- ▼第58回全国高等専門学校体育大会・第50回全国高等専門学校体育大会野球競技



▲会田智康教育長（左）から激励金を受け取る選手、指導者の皆さん

佐藤悠有
▼第23回全日本中学生男女ソフトボール大会
渡邊蓮斗
▼第20回全日本一般男子ソフトボール大会
伊藤修一
▼全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技大会
渡部靖（指導者）
▼全国高等学校総合体育大会水泳競技大会 第91回日本高等学校選手権水泳競技大会
高橋こあら

交通事故死者ゼロ10年達成 福島北警察署長から感謝状

町は、8月7日午前0時をもって「交通事故死者ゼロ10年」を達成しました。同日、感謝状贈呈式が役場で行われ、町交通安全対策協議会長の高橋町長に、古閑福島北警察署長から感謝状が贈呈されました。高橋町長は

「交通量が多い国道4号などが通る町内で10年間交通事故死者ゼロを達成できたのは、町民の皆さんの高い意識によるもの。今後も、関係団体と協力し、住民が安心して暮らせる町を目指す」と気持ち新たにしました。



▶交通安全普及啓発活動に取り組む関係団体の皆さん

令和5年度 個人県民税 優良市町村として町に感謝状

令和5年度個人県民税優良市町村感謝状贈呈式が8月1日、役場で行われ、白石孝之県北地方振興局長が高橋町長へ感謝状を贈呈しました。

町の収納率は、98・35%で、前年度を0・49ポイント上回り、4

年連続6度目の受賞となりました。高橋町長は「小学校で租税教室を開き、小さいときから税に関して考えてもらう機会を設けている。これからも自主財源の確保に向けた取り組みを継続していく」と話しました。

アシスタントがサポート 初めてのタブレット講座

「初めてのタブレット講座」が7月24、31日にイコーゼで行われ、8人が参加しました。

（株）福島県中央計算センターの遠藤義広さんを講師に、基本的な操作方法やLINEの使い方、ラジオ・防災

情報アプリを活用した災害時の情報収集などを体験しました。今回は、3人のアシスタントの皆さんも受講者をサポート。参加者からは「次回も参加したい」「これを機に自宅でも使ってみたい」などの声寄せられました。



▶アシスタントのサポートを受けてタブレットを操作する参加者

人権擁護委員活動に尽力 石幡正則さんへ感謝状贈呈

法務大臣が委嘱する人権擁護委員への退任感謝状贈呈式が7月27日、役場で行われ、福島地方法務局の鈴木理香人権擁護課長より石幡正則さんへ感謝状が贈呈されました。石幡さんは、平成26年から3期9年に渡り、小学

校での人権教室や電話・対面による人権相談などに従事し、伊達川西地区部会会長を務めるなど、人権擁護活動に尽力されました。式では、新たに人権擁護委員となる渡邊美昭さんへの委嘱状伝達も行われました。

工事中の安全を祈願 いちい桑折店・グランケット桑折新築工事地鎮祭

福島蚕糸跡地に出店するいちい桑折店およびグランケット桑折（グランピング施設）の新築工事地鎮祭が8月10日、現地で行われました。

式は、福島稲荷神社により執り行われ、株式会社いちいおよび工事を担当する菅野建設株式会社、有限会社ケーズブランニング、町を代表し高橋町長、原賢志町議会副議長が参列しました。高橋町長は玉串奉奠を行



▲夏空の下、厳かな雰囲気で行われた地鎮祭。工事中の安全と地域の発展を祈願しました

い、建築工事の安全を祈願。（株）いちいの伊藤信弘代表取締役は「町の特徴を活かしながら、町民の皆さんに楽しんでいただける施設を目指すとともに、工事期間中の安全と計画通りの竣工を祈願する」と話しました。

当該施設は、スーパーマーケットとグランピングやキャンプなどができるアウトドア施設で構成され、令和6年2月末竣工予定です。

も 町消防団第4分団救命救急・AED訓練
しもの時に備えて

町消防団第4分団主催の救命救急・AED訓練が7月23日、イコーゼで行われ、団員約50人が参加しました。

伊達地方消防組合中央消防署西分署の職員5人を講師に迎え、救命救急の流れや心臓マッサージ、AED操作の方法などを少人数のチームに分かれて実技訓練を行いました。団員たちは積極的に質問をしたり、操作の手順を繰り返し確認したりしながら、熱心に訓練に取り組み、町の安全・安心を守るために救命措置の技術向上に努めました。(消防団に興味がある人は、生活環境課 危機管理係☎582-2123まで)



▲一つ一つの動作・手順を確認しながら心臓マッサージの訓練を行う団員の皆さん

し みやぎ生協・コープふくしま「絵本キャラバン」
あわせ感じる絵本の世界へ

みやぎ生協・コープふくしま主催の絵本巡回展示「絵本キャラバン」が7月26日、イコーゼで行われ、多くの家族連れでにぎわいました。

同事業所は「絵本でつなごう『へいわの輪』プロジェクト」として、「しあわせ」や「へいわ」を感じ、心に残った絵本を組合員から募集。宮城県・福島県の会場を巡回し、投稿された134冊の絵本とコメントを会場に展示しました。この日は絵本の展示のほか、読み聞かせ会も実施。名作をはじめ、夏にぴったりのお話や本屋大賞に選ばれた絵本を紹介するなど、子どもから大人まで心温まる物語に癒されていました。



▲幸せを感じるお話に共感し、子どもから大人まで自然と笑みがこぼれていました

四 旧伊達郡役所活用事業 「サン・フォトこおり写真展」
四季の風景魅力伝える

サン・フォトこおり写真展「光と影 新たな出会い」が8月11日から16日までの5日間、旧伊達郡役所で開かれ、四季折々の風景写真の魅力伝えました。

サン・フォトこおりは平成4年に設立。町内在住・在勤者からなる写真愛好家の集まりで、会員9人中、7人の作品約40点を展示。半田山の桜や山野草、県内外の力作が展示されました。

当日は、旧伊達郡役所開庁140周年に合わせて、旧伊達郡役所の写真コーナーも設置されました。



▲町内外の多彩な風景を切り取った写真の魅力に見入る来場者

■農業委員会委員・農地利用最適化推進委員 ◎新任

農業委員	推進委員	担当区域
佐藤 孝◎	井浦 成晴	桑折
高橋 貢	関根 辰雄	松原・成田
寺島 智史◎	浅野 隆良	松原・成田
佐藤 親	佐藤 正幸	万正寺・平沢
大泉 忠志◎	亀岡 範彦	伊達崎・下郡
山家 修◎	相原 晴美◎	伊達崎・下郡
菅野 昭一◎	大槻 英紀◎	上郡
蓬田 浩幸	半澤 正志◎	南半田
浅野 国英	丹治 静江◎	北半田
佐藤 徳雄	津田 健一◎	谷地

voice

農地利用の最適化を目指して



農業委員会 会長
佐藤 徳雄さん

農家の高齢化や担い手不足、遊休農地の増加など、農業を取り巻く環境は年々厳しくなっています。農業委員会は、町の農地行政を執行する立場として、農地の権利移動の許認可や農地利用状況調査、遊休農地解消に向けた働きかけなどを行いながら、担い手への農地利用の集積・集約化や新たな農業経営への参入促進といった、農地利用の効率化および高度化に向けて両委員が連携して取り組んでいきます。

任期満了に伴い、7月21日に町長から10人の農業委員が任命され、会長に佐藤徳雄さん、会長職務代理者に浅野国英さんが互選されました。

また、農地利用の最適化に取り組む体制を強化するため、10人の農地利用最適化推進委員が佐藤農業委員長から委嘱されました。令和8年7月の任期まで、左記の体制で、地域農業の発展と振興に向けて取り組んでいきます。



▲今回新任となった農業委員と推進委員の皆さん(表中◎印)

広 告

広 告

広 告

桑折町公式 LINE ▶▶▶▶▶



広報こおり・お知らせ版など町の情報がスマホに届く！



認知症の理解を広げよう！

毎年9月は「世界アルツハイマー月間」です

1994年「国際アルツハイマー病協会」が、世界保健機関（WHO）と共同で9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定。それに合わせ毎年9月には、世界中で認知症への偏見をなくし、理解を広げるための活動が繰り広げられています。

脳健康も考えてみよう

「認知症」とは、いったん正常に発達した認知機能が持続的に低下し、社会生活に支障をきたすようになった状態のことを指します。認知症の多くは、発症すると完治は困難であるといわれていますが、認知症の手前で予兆に気づき、早い段階でケアをすることで進行を緩やかにすることができます。

町での取り組み

体験 脳活力
トレーニング

随時、タブレットを使った「脳トレ」や、認知機能バランスチェック等の体験ができます。「出張脳トレ」も行っていますので、気軽に問い合わせください。

詳細は
こちら▶

講座 認知症
フレンドリー講座

9/24

認知症当事者の声を聞き、みんなで認知症の人の視点をバーチャルリアリティーで体験します。認知症とともに生きる地域を考えてみませんか。

詳細は
こちら▶



健康福祉課 福祉介護係 ☎582-1134

告 告

参加者の
声

佐藤キヨさん
(100歳)



体操歴7年の佐藤キヨさんは
今年で **100歳**

今の生きがいは、いきいき百歳体操に参加することです。7月に百歳体操の皆さんにお祝いをしてもらって大変嬉しく思いました。家では書道も趣味として励んでおりますが、皆さんとお話するのが一番楽しく、健康のためにも良いですし、これからも皆さんと仲良く百歳体操を続けていきたいと思っています。

Q
どんな体操？

1本220gの棒状の重り（希望の本数）をカバーに入れて手首や足首につけます。準備体操・筋力運動・整理体操で構成された40分間のDVDを観ながら行います。

Q
効果は？

- 仲間作りなど地域交流
- 筋力や体力の向上
- 腰痛や関節痛の改善
- 骨粗鬆症の予防
- 糖尿病や脂質異常症の改善
- 便秘の改善
- うつ状態の改善
- 認知症の予防

参加方法について

～自分のために始めてみませんか～

- ① 既存のグループに参加
- ② 新たにグループを立ち上げる（仲間5人以上）
- ③ DVDと重りを健康福祉課で借りて自宅で行う

■問い合わせ：

健康福祉課 福祉介護係 ☎582-1134

告 告

これから楽しく健康に過ごしていくために
始めよう いきいき百歳体操

いきいき百歳体操とは

町では、介護予防事業の一環として「いきいき百歳体操」が盛んに行われています。現在21グループ約300人が在籍し、60歳から100歳まで幅広い世代が活動しています。重りを使った簡単な体操で、運動の苦手な人にもおすすめです。専門職（保健師や管理栄養士、歯科衛生士など）のスタッフが、グループを訪問し、体力測定や健康講話なども行っています。



NEWS

元気に遊んで
脳を活性化



子育てアドバイス

暑さが残る9月。外で遊ぶにはまだまだ厳しい時期ですが、筋肉を動かすことで脳が育つということを知っていましたか？

最新の研究では、筋肉をよく動かすことで『**マイオカイン**』という**ホルモン**が生まれ、**脳を刺激し活性化**するという事が分かってきました。今回は、筋肉と脳の関係を探っていきましょう。

Q1 筋肉を動かすとは

普段の生活の中で歩いたり、走ったり、階段を昇り降りしたりすること全てが筋肉を使う運動になります。



Q2 運動するとどうなるの？

「体の柔軟性が高まる」「筋肉、筋力が増え骨が丈夫になる」「持久力や体力が向上し心肺機能が向上する」「爽快な気分になり、夜よく眠れる」そして何より**筋肉から分泌されるホルモン「マイオカイン」が出て脳を活性化させます。**

Q3 「マイオカイン」って何？

主に筋肉に**力が入った時に分泌される脳を刺激するホルモン**です。海外での調査結果によると、**身体テストと学力テストの結果は比例**することがわかってきました。理由は、運動により脳への血流が増え、脳細胞が活性化し、思考力や集中力が飛躍的に高まるからと考えられています。そのため、脳を育てるには、知識ばかり詰め込むのではなく、乳幼児の時から、さまざまな遊び（走る・跳ぶ・登る・降りる・投げるなど）を取り入れることが大切です。



ポイント

子どもにも大人にも良い「マイオカイン」

「マイオカイン」は、免疫機能の強化も期待され、病気に負けない体をつくれます。また、心臓病や糖尿病、がん、認知症などの予防や、うつ病・不安症の抑制などにもつながります。咀嚼運動も「マイオカイン」が分泌されるので、よく噛んで食事をするのもお勧めです。

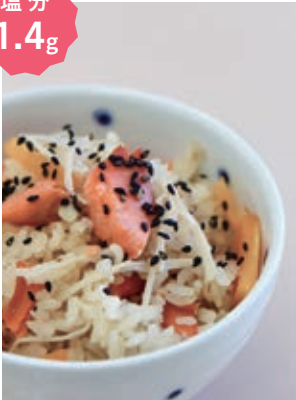
広告

Recipe

管理栄養士のおすすめレシピ

鮭の牛乳入り
炊き込みご飯

塩分
1.4g



■材料（4人分）
米……………2合
酒 …… 大さじ1、1/3
しょうゆ ……小さじ2
塩 ……小さじ1/2弱
牛乳 …… 200ml
だし(または水)
……………2/3カップ
甘塩鮭……………2切れ
にんじん……………1/3本
えのきだけ……………70g
黒いりごま……………適量

【1食分の栄養価】 エネルギー 380kcal/たんぱく質17.3g/脂質4.5g/カルシウム73mg/鉄1.1mg/塩分1.4g

■作り方

- ①米は洗ってざるにあげ、30分おく。
- ②にんじんは3cm長さのせん切り、えのきだけは長さを半分に分けてほぐす。
- ③炊飯器の内釜に米とAを入れる。だし(または水)を加え、2合の目盛りの水加減にして混ぜ、鮭・にんじん・えのきだけをのせて炊く。
- ④炊きあがったら鮭の皮と骨を除いてほぐし、ご飯に混ぜ入れる。器に盛り、ごまをふって出来上がり。

ここがポイント！

鮭のうまみと塩味が牛乳とよく合います。鮭は水煮缶を利用するとより簡単です。えのきだけはしめじ、しいたけなど好みのきのこにも替えられます。きのこ類はビタミンDが多く、カルシウムの吸収を高めます。

check

ヘルスアップチーム健康研修会

旧保健協力員を母体とした新たな健康ボランティア組織である「ヘルスアップチーム」の研修会が7月25日、イコーゼで実施されました。ヘルスアップチームや食生活改善推進員、一般町民ら合わせて40人が参加し、福島県立医科大学の鴻野央征先生より「健康づくりの基礎基本」について熱心に学びました。



9 Sep.2023
Calendar

9/6	WED	広報こおり9月号 広報こおり「お知らせ版」	★
7	THU	和菓子風アロマ石鹸を作ろう	♡
8	FRI	おはなし会	★◆
9	SAT	桑折学習塾（半田醸芳小）	
10	SUN	キッズスクール「カステラづくり」 ◎まつもとクリニック ☎582-4800	
11	MON	健康チェック＆相談日	♡
12	TUE	1歳6か月児健診（R4年1月・2月生）	
13	WED		★
14	THU		
15	FRI	マリンバ鑑賞会 小学校陸上競技大会 桑折学習塾（中学3年生）	♡★◆
16	SAT		
17	SUN	◎武田小児科 ☎575-2439	
18	MON	◎すずき医院 ☎575-2563	
19	TUE	3歳6か月児健診（R2年1月・2月・3月生）	
20	WED	広報こおり「お知らせ版」	★
21	THU		♡
22	FRI	特定・後期高齢者・各種がん検診 桑折学習塾（中学3年生）	◆
23	SAT	◎伊達セントラルクリニック ☎575-3215	
24	SUN	認知症フレンドリー講座 ◎なかのクリニック ☎575-2246	
25	MON	特定・後期高齢者・各種がん検診	♡
26	TUE	すくすくカフェ「ママトーク」	
27	WED		★
28	THU	お片付け講座	♡
29	FRI	↓	★◆
30	SAT	桑折学習塾（中学生）	
10/1	SUN	◎ながえクリニック ☎575-1118	
2	MON	特定・後期高齢者・各種がん検診	♡
3	TUE		
4	WED	広報こおり10月号 広報こおり「お知らせ版」	★
5	THU		♡
6	FRI	↓ おはなし会	★◆

●成人講座 ●子ども向け講座 ◎休日当番医

◆母子手帳交付・すくすくの日
（☎582-6045）へ事前にご連絡ください。

【子育て支援センター】：イコーゼ 10:00～11:30

♡ベビールーム（1か月～1歳5か月ごろのお子さんと保護者）

★キッズひろば（1歳6か月ごろ～就園前のお子さんと保護者）

図書だより

図遊学館「よも～よ」 ☎ 582-5388

／ 今月のおすすめ ／

➤ 今読みたい！地域にゆかりのある本



一般書

■ 桑折町案内どころ 三十二選
猪俣好巳：著
(弘報印刷(株)出版センター)

郷土史を研究する猪俣氏が、長年
まとめてきた資料より、町の文化財
32箇所を厳選して紹介。保存・活
用に努めてきた方々の努力も伝えら
れている。町に寄贈され、イコーゼ
や旧伊達郡役所、各公民館でも閲覧
可。秋のお出かけに役立ててみては。



一般書

■ 聖光学院・斎藤智也のセオリー
価値観をそろえ、負けない法則60
田尻賢誉/著
(ベースボール・マガジン社)

心の能力を上げ、価値観をそろ
えることで、強い組織をつくる名
将・斎藤智也。獲るより育てる「負
けない野球」の戦い方を、スポーツ
ジャーナリストの田尻賢誉が60の
セオリーとして伝える。斎藤監督と
ともにチームを支える横山博英部長
のセオリーも紹介。



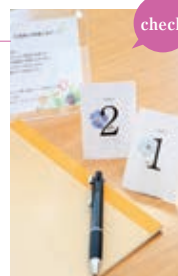
勉強に集中できる最適な環境
自主学習にご活用ください



遊学館「よも～よ」の図書室は、雑音が少
なく、勉強に集中できる最適な環境です。自
習のみであれば、手続きも不要で、誰でも利
用できますので、冷房の効いた涼しい図書室
を、ぜひ自主学習にご活用ください。

長時間の利用もOK

勉強の合間に昼食をと
りたいという人には、2
階の会議室や役場の町民
ロビーをご案内していま
す。カードを置いておけ
ば、席を確保したまま引
き続き利用できます。



Information

イベント情報

開庁140周年記念
旧伊達郡役所・誕生祭

明治の息吹を感じる旧伊達郡役所と
紅葉の名所「陣屋の杜公園」を会場に、
開庁140周年を祝うイベントを開催。
この日限りのカフェや、着付け体験な
どを楽しめます。また、日本で最古の
自転車と言われる「三元車」のレプリ
カ展示も行います。

日程 11/3 (金・祝)

場所 旧伊達郡役所、陣屋の杜公園

▼ 旧伊達郡役所の歴史



入場
無料



マルベリーこおり

図事務局 ☎ 582-3129

紅葉を楽しむ高原の旅へ
秋の西吾妻山トレッキング

紅葉が美しい日本百名山「西吾妻山」。途中までロープ
ウェイを使うので、登山初心者にもおすすめです。

■ 日 程 10月7日(土)

■ 行 程 グランドコ裏磐梯＝ロープウェイ＝山頂駅～
西大巔～西吾妻山山頂往復(所要時間：約5～6時間)
※天候によりコースを変更する場合があります。

■ 集合場所 イコーゼ 北側駐車場

■ 定 員 15人

■ 参 加 料 会員7,000円、未会員8,000円
(交通費・ロープウェイ代・保険料込)

■ 持 ち 物 トレッキングに適した服装、トレッキング
シューズ、昼食、レインウェアなど

■ 申し込み マルベリーこおり事務局(☎582-3129)
※詳細は後日参加者へ通知します。



1_子どもから大人まで誰でも楽しめるeスポーツ 2_リズムゲーム
「太鼓の達人」に挑戦 3_初心者でも快適にゲームを楽しめるボタ
ン式のコントローラーを使用 4_世代を越えて白熱した戦い



名作の数々に感動
美術館鑑賞

成人講座「美術館鑑賞」が8月
10日に行われ、参加者26人が福
島県立美術館を訪れました。この
日は、特別展「ブルターニュの光
と風」が開催。モネやゴッガン、
ボナールなど、同地に魅了された
画家たちによる約70点の油彩画
や版画が展示。参加者は、ブル
ターニュ半島を取り囲む海岸と豊
かな自然、そこに住む人々の素朴
な暮らしが垣間見える名作の数々
をじっくり鑑賞しました。「名作
が見れて感動した」「魅力を堪能
できた」などの感想がありました。



移民読み解く
桑折町と移民

成人講座「桑折町と移民」が8
月3日、イコーゼで行われ、町内
在住で元新聞記者の紺野滋さんを
講師に、講座を開きました。

当日は15人が参加。桑折町民
がハワイやキューバへ移民した経
緯やその後の生活について、紺野
さんが当時撮影した写真を用いな
がら、自分が取材したメモをもと
に説明しました。参加者は「先人
の貴重な話を聞くことができた。
充実した内容であった」と話し、
普通に生活していく中では知れえ
ない移民の実情を学びました。



緑に癒されて
苔玉づくり

成人講座「苔玉づくり」が7月
14日、イコーゼで行われ、19人
が参加しました。たなごころ(福
島市)の羽田稔さんを講師に招き、
細くて柔らかな葉が特徴の「紅風
知草」を使って、苔玉づくりに挑
戦。風になびく姿が美しく、趣の
ある手のひらサイズの苔玉ができ
ました。参加者からは「自分で作っ
たことで愛着がわく」「これから
花が咲くのが楽しみ」との声が聴
かれました。自宅に咲いている植
物の育て方などのアドバイスも受
け、実りある時間を過ごしました。

INVITING COMMUNITY
ZONE FOR EVERYONE

生涯学習だより

eスポーツで世代間交流
多世代で白熱のゲーム体験

成人講座「eスポーツ体験」が7月19日と27
日にイコーゼで行われ、小学生から大人まで38
人が参加しました。

eスポーツとは、エレクトロニック・スポー
ツの略称で、テレビゲームなどを使って「対戦」
するスポーツのこと。認知機能向上やコミュニ
ティー創出、健康づくりにもつながると言われ、
全国で活発に行われています。福島県eスポー
ツ推進協議会代表の中河西宏樹さんを講師に招
き、初心者向けの3つのゲーム(ぷよぷよ、太鼓
の達人、グランツーリスモ)に挑戦。最初は、何
をすればいいのかと戸惑っていた様子もありま
したが、実際にゲームを動かすと、だんだんコツが
つかめてきて、楽しくプレイすることができまし
た。子どもが大人に教える姿も見られ、和気あい
あいと世代間交流していました。



ごみ減量化インフォメーション 図生活環境課 ☎582-2123



衣類は資源



国内で年間に廃棄される衣類の量は51.2 tもあり、その内、リユースやリサイクルされる割合は35%程度しかなく、6割以上は「ごみ」として処分されています（2020年の環境省「ファッションと環境」の調査結果による）。

衣類は、大切な資源です。流行の変化や子どもの成長などで着なくなり、不要となった服は、リユースショップやフリマアプリの活用（思わぬ収入になることも）、一部の洋服屋さんで実施している古着回収に持ち込むなど、簡単に捨てずに一度リユース・リサイクルを検討してみましょう。



古着類を回収しています

町では、ごみ減量化と貴重な資源をリサイクルするため、古着類と小型家電の特別回収を年2回実施しています。大切な資源を「ごみ」として処分せず、この機会にぜひご利用ください。

check

古着類と小型家電の特別回収

日時 10月7日 ☎ 9:00～11:00

場所 桑折町役場 駐車場



特別回収の様子



町のごみ排出量

※1人1日あたりの排出量

令和5年6月

1,219 g 前月比+46 g

福島県平均（令和3年度）1,029 g

分別に困ったら…

伊達地方衛生処理組合のホームページで検索



広 告

広 告



SYUTO SATO

大工になったら上京し、より多くの現場や人と関わりながら仕事がしたいです。

わたしの夢

Dreams come true.

住みやすい住宅をつくる大工

佐藤 朱羽斗さん（醸芳中3年生）

私の夢は、誰もが住みやすい住宅をつくる大工になることです。小学生のころから、物作りに興味があり、鉛筆立てなど身の回りの物をよく工作していました。工作する時は、失敗しても、その失敗を次の作業に活かし、何とか自分の手で作ろうと工夫を凝らしています。次第に、もっと大きな物を作りたいと思うようになり、将来は大工として多くの住宅を手掛けたいと夢見ています。建築を学べる高校へ進学し、実際に工具や木材を扱えるようになったら、身近な物や自宅の壊れている部分を修理してみたいです。今は、普段使う家具などの材質を気にして見たり、物を丁寧に扱うことを心掛けたりしながら、夢を膨らませています。

こおりスマイル You have a good smile.



斎藤 陽向くん

たくさん食べて大きく育ってね ママより♡



蓬田 詩乃ちゃん

いっぱい笑って大きく育ってね ママより♡

町民の皆さんの笑顔の写真を募集します。年齢は問わず、赤ちゃんから学生さん、大人の方まで大歓迎！ ①最近撮影した写真 ②氏名（ふりがな）・性別 ③メッセージ（20字程度）を記入して応募してください。【応募先】総合政策課 ☎seisaku@town.koori.fukushima.jp

二次元コードから簡単にメール送信できます▶



まちのお知らせ

Town information.

マイナポイントの申し込みはお済みですか

マイナポイント締切間近！

9月末まで



■対象

令和5年2月末（オンラインは3月1日）までにマイナンバーカードを申請した人

■ポイント付与額 最大20,000円

■期限 9月末まで

※申し込み先の決済サービスにより異なります。

■申し込み方法

スマートフォンやパソコン、街中のマイナポイント手続きスポット（郵便局・携帯ショップ、コンビニなど）、役場1階税務住民課②番窓口

図税務住民課 住民国保係 ☎582-2114

みんなのSDGs



地元へ寄り添い、さまざまな支援事業を行うことで積極的にSDGsを推進する商工会の皆さん

全ては身近な範囲での活動から —— 持続可能な地域社会づくりに貢献

桑折町商工会

地元事業者のために、経営・金融・税務・労務など、さまざまな分野で支援を行う桑折町商工会。SDGs推進委員会を組織し、会員が各事業活動や日常生活の中でSDGsに取り組むきっかけづくりを担い、啓発に努めています。

近年は、SDGsの理念を浸透させる活動の一環として、事業者の皆さんを対象に勉強会を開催。また、省エネルギー効果の高い設備更新を目的とした「福島県中小企業等経営コスト削減支援補助金」獲得に向けた伴走支援も実施し、これまで7社の補助金獲得に繋げ、地域の省エネ化に貢献しています。女性部では、使用済みポスターなどを再利用したエコバッグ作成に取り組み、昨年9月に郡山市で開かれた「ふくしまSDGs博」で来場者プレゼントとして配布し、大好評でした。他にも、月1回の資源回収や家庭から出る天ぷら油などの廃油を再利用したEM石けん作りなど、活動の幅を広げています。

SDGs推進委員会委員長の水口盛さんは「今後も、多方面から地元の皆さんの活動を支援することで、持続可能な地域社会づくりに貢献していきたい」と力強く語りました。

【編集後記】

▶夏になれば、いつでも食卓に並んでいた桃。生まれたときから、当たり前のように甘い桃を食べて育ちました。どれだけ桑折の桃が高品質でおいしい桃なのか、大人になってからその価値に気づかされました。先人から脈々と受け継がれる桃づくりへの情熱や技術が、ギュッとそのひと玉に詰まっています。小学生時代、家に置いてある桃を、何の気なしにカブトムシに与えていましたが、なんて贅沢な生涯だったことでしょう（大越）

◆人口（前月比）8月1日付

人口	計	11,107人	(-12)
※住民基本台帳/外国人含む	男	5,400人	(-8)
	女	5,707人	(-4)
世帯数		4,618世帯	(-4)
転入など	22人	出生	4人
転出	16人	死亡	22人

◆今月の納税

- ・固定資産税（3期）
- ・国民健康保険税（普通徴収3期）
- ・介護保険料（普通徴収3期）
- ・後期高齢者医療保険料（普通徴収2期）

期限 **10月2日** 日

◆住民票・戸籍・印鑑・税証明交付/印鑑登録/マイナンバーカード交付など窓口延長（毎週木曜日、午後7時まで。祝日除く。）

※**当日午後5時**までに税務住民課（☎582-2114）へ要予約。